2008年3月22日

価 1部140円(本体133円干共200円)

日本基督教団 169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18日 本 キ リ ス ト 教 会 館 内 電 話

FAX03(3207)3918 発 行 人 内 藤留幸 編集主筆 竹 澤知代志

1年分 〒共 紙代のみ 5,000 円 3,500 円 振替 00140-9-145275 本紙を購読ご希望の方は、前金を そえて、お近くのキリスト教書店 へお申し込み下さい 教会の購読料は負担金に含みます。

山北宣久議長は、「勧告議 議事日程から議論白熱、波乱の幕開けとなった常議員会

第 35 総会期

会は、 き」一辞任勧告のような重要 べきだ。議事の進め方につ 案件は三分の二賛成で決す 員が出席して開催された。 いまま、議長は教団新報で 出版局長選任の議題だけ まず議事日程に関して、 教団会議室で三〇人全 二月十八日から二日 辞任議題もあるべ

答弁を行った」などの意見 任する説明が欲しい」との ではない。教団総会で選任 の書記報告で済ませる問題 されたことについて、「二行 された局長が任期途中で辞

第35総会期第四回常議員 その時答えたことを教団新 賛成十八票で議事日程を採 案を過半数で決するという 報に文章化した」と答え、 ことは前回確認している。

出版局長の辞任承認が報告 続く書記報告で、 秋山徹 れた結論を尊重することと たことを思い、祈って出さ た」と答え、山北議長も で、それなりの経過があっ て決めたことは重いもの にそれ以上は問えなかっ

意見に対し、内藤留幸総幹 事は「議長宛ての辞表には

たので、話し合いをしたが、 られたので、牧師である人 「一つの立場の長が熟慮し 『一身上の都合で』とあっ 『祈って導かれた』と答え 記報告は賛成多数で承認さ があるのは当然で、議長の 議長は、「ご意見を聞いて次 か」との質問が出た。山北 らその権限を委譲されたの 答を迫っているが、どこか について、「期限を切って回 の段階に進むために、 た北村慈郎教師宛て勧告書

中越」終了、募金の重点は「能登」へ した」と述べた。 また報告に添付されてい

性格が変質して来たことを と報告した。

の仕方、 明確さ、配分協議会の役割 ど、現状の問題点を明らか 準備している。 もらうため、七月常議員会 事報告で教区活動連帯金に 触れ、「常議員会で論議して についての理解の不一致な に提案出来るよう事務局で 内藤留幸総幹事は、 金額の決め方の不 分担金拠出 総幹

替があり、更には、「合同のとらえなおし」等継続的に議論されてきた重要課題が山積し、今後の展開

春の各教区総会、

秋の教団総会まで、

濃密な議論が続くか。

今常議員会は「教師退任勧告を行う件」が焦点になるものと予想されていた。案の定、鋭い対立を

待ったなしの抜本的機構改革案が提示され、

出版局長の交

見せ、激しい議論が交わされた。一方で、

はいっそう複雑・深刻化を免れない様相。

というが、何をもって不明 方、金額の決め方が不明確 な点が多々ある。連帯金の 内藤総幹事は、「連帯金の四 うのか」との質問が出た。 めたことを何故不明瞭とい 確というのか。協議会で決 〇年間の歴史の中で不明瞭 これに対し、「拠出の仕 成は確実視され、教団の被

にし、解決の途を探りたい」

再建支援委員会委員長は、 答弁した。 で十八万円弱まで達した募 08年二月十五日現在、一億 小橋孝一·被災教会会堂等 あるという訳ではない」と 金状況を説明して「目標達 七九八二万円余と目標額ま 指しており、 中越地震募金について、 数字に問題が された。

員会報告を行った。

08年度中に完工の見込み。

返済が困難となっている教

中越沖地震被災信徒六人に

二〇〇万円を支援した」と

長山信夫「能登半島地震」被災教会会堂等

再建支援委員会委員長は、 長山信夫・被災教会会堂等

能登半島地震について、

「七尾教会牧師館建築、七

再建支援委員会委員長 潤中部教区議長は、「08年二 堂補修工事が完了した」と 感謝をもって報告し、高橋 尾幼稚園改修、魚津教会会 月十五日現在の募金四六一 一万円で、中越地震募金一

募金を終了したい」との委 災教会支援を能登半島地震 に集中するため、三月末で **此田國磨呂関東教区議長** 「小出教会の会堂建設は 議長は、「最後となった芦屋 処理について質問、意見が 阪神淡路大地震第二次募金 浜教会の再建は成ったが、 相次ぎ、菅根信彦兵庫教区 中越、能登報告質疑の中で 推移している。 三月二三日 行う」と目標額一億五〇〇 年目とほぼ同様のペースで 〇万円への支援を訴えた。 (日)、被災を覚える礼拝を

教師退任勧告、「正しい」の字義で激しく対

れた。

リティだが、集団をとらえ

ない。②ここで「正しい」 聖餐を続けるのでは意味が 報告し、委員会報告が承認

完了したい」と述べた。 用中だ。年度内には報告を 会もあり、現在も募金は運

(永井清陽報)

容およびその後の経過等に 日付けで同教師に対する 山北宣久議長から十月二六 慈郎教師に対し教師退任勧 さい」と添えられており、 ついて説明した。その中で、 本議案を扱うにあたり山北 告を行う件」が可決され、 する応答を二〇〇七年十二 勧告書には「この勧告に対 議長は、送付した勧告の内 回常議員会において

「北村 勧告書」が送付された。 昨年十月に行われた第三 する応答はできない」との それでもなお応答がなけれ 付したこと(二月四日付)、 答を求める「ご通知」を送 付)があったこと、それを 内容の返事(十二月三一日 って再度勧告する備えであ 受けて山北議長からなお応 別紙「再勧告書」をも

洗者への配餐の問題点など ること等が報告された。な 告に至った事実経過や未受 に「今後もなお、 「再勧告書」では、

きたのは、「教師退任」だ 村氏の「常議員としての資 第三回常議員会を経て出て

餐を行うのであれば、戒規 以下のように三点の疑問と る応答を二〇〇八年六月二 おきます。上記勧告に対す を得ないことを申し添えて の執行申し立てに進まざる 員会の際に山北議長は、 な点として、①第二回常議 い」とある。 〇日までにご連絡くださ 二点の意見を述べた。 疑問 勧告を受けた北村氏は、 とか。聖礼典は人間の側の 典」だという意識はない。 私には「これが正しい聖礼 った。②山北議長は「正し が、私の行っている聖礼典 ③教憲・教規違反だという それを絶対化できるのか。 は幅がある。山北議長は狭 ない。教憲・教規の理解に は必ずしも違反だとは思え 応答だから、間違いもある。 にも問題がある。それを重 い聖礼典」を強調するが 「正しい」とはどういうこ

の勧告に関しては多くの教 憲・教規に優り、教憲・教が、聖書とイエスの方が教 だというが、私は沖縄や性 論が起こっていないのに、 なおしについては十分な議 これは何か。合同のとらえ 規を乗り越えるのである。 っているので、こういう反 がより大きな生命線だと思 と世界』に書いたことは、 応は奇異に思う。②『福音 差別に取り組んでいくこと なぜこれには反応があるの 会、信徒の反応があるが、 次に意見として、①この度 「聖餐は教会の生命線」 るときは、幅を持ってとら 性化するのが教団の豊かさ 聖餐は受けない」と言った。 ①北村氏は「第3回総会は の意見があった。 造性が発揮されない、など もあるが、それを生かし活 常議員となり、「沖縄不在の 無効だ」と言っていたのに は、次のように応答した。 となる。教憲・教規一本で 教規をはみ出していく部分 ら、各個教会の中では教憲・ 勧告に反対する立場か これらに対して山北議長 一歩踏み出していく創

勧告について賛否の意見が

聖餐執行のあり方や退任

多様性を守っている。私た

規に則っていること。③教

とは、信仰告白や教憲・教

憲・教規は教団の豊かさや

ちは同じ信仰に立って天の

宴に与るのである。

か。

そうした伏線がある。 常議 された。 認されることの可否などを とや「再勧告書」の意味、 激しく交わされた他、勧告 告として、 巡って議論されたが、本議 案は議長の行ったことの報 本議案が「報告」として承 書に対する応答を求めたこ 賛成多数で承認

藤盛勇紀報)

いうこと。教団ではマイン が宣教の現場では大事だと

員を辞めたとしても違法な

多岐にわたる改革案を提言する 佐々木美知夫機構改革特設委員長 ど「痛みと困難を伴う」重

要かつ具体的提言となって

教

[宣教研究所]

研究機関としての研究所

宣教委員会の設置によ

割を持つようになり、 り議決機関、執行機関の役

出版局長を経営最高責任者 めるため、理事会を廃止し、 態になっている。これを改 報

の出版局長と理事会の廃

総会議員百人 **八減、出版局理事会廃止** 機構検討特設委員会答申

頁に及ぶ長文の答申を行っ 佐々木美知夫委員長は十三 構検討特設委員会報告で、 常議員会一日目午後の機 活動に終始して来た。 紛争後は宣教基本方策、 会活動基本方針の見直しや 社

[年金局]

ち帰りと宣教委員会の廃 教研究所の研究機関への立 人減員し三〇〇人にするな 経営最高責任者として 教団全体の体力が落ち 教団総会議員を一〇〇 える。宣教委員会を廃止し 七名とし、常議員二名、信 教育委員会・社会委員会の その下にある伝道委員会・ 成果を常議員会・諸委員会 解の重要課題を神学的・教 会化する。 仰職制委員長をその中に加 会的に研究する機関とし、 常設専門委員会を常設委員 に報告する。 本来の福音把握と宣教理

ている」現状を踏まえ、

員三一二六名、月定献金総 での四年間に、現住陪餐会

|億三〇〇〇万円の減少

答申の前文で「66年度ま

任を取っていないという実 版局長にあるが、経営責任 事長にあり、だれも経営責 は年数度しか出席しない理 現行では、運営責任は出 二一名)とし、評議員会を 表五名の二二名とする。 表十七名、東京教区支区代 このため、理事七名(現 教団の業務機関の一つだ 評議員は、各教区代

るため、五名の経営審議会 とする。局長をチェックす の理事会が可能ではない 留まっているのは適当では いか。各教区選出理事が制 置する必要があるのではな た恒常的な諮問委員会を設 外部専門家の助力を受け より少数 が、運動体の組織として成 立したために、運動体組織 費面でも募金と教団事務局 で運営されて来た。議決、 からの人件費という二重制 の関係、働きが重なり、経 機関としての運営委員会と 統一の取れた責任と活動を 執行機関である活動委員会 みが考えられており、議決 を優先する形で機関の仕組 教団諸教会に提示すること 業務、管理において

確化し、二〇一〇年にはす

べてのセンターの対応を終

て責任を負う」を挿入し、 委員を九名(現十八名)に 営委員会は教団総会に対し が求められる。 [各種センター] そのため、規約5条に「運

を考えると、責任体制を明 会的責任が言及される状況 していない。宗教法人の社 役員だが、実際は全く関与 法律上の責任者は教団責任 現在十八あるセンターは、 理しなければならないが、 し、経理処理を行っている。 それぞれの運営母体で運営 営し、教団の特別会計で処 宗教法人上は、教団が運

は廃止する とし、推薦議員(現三〇名) |五〇名(現各|八五名)

員会の努力に感謝する」と 毎に意見交換が行われ、「も って検討した。

この答申を受けて、項目

け、総会議員数の変更に限 えるべき。 前総会期からの検討を受

総会議員は教師・信徒各

抗議声明

撃を受けています。まことに慚愧にたえません。

じ、強い抗議を米軍はじめ関係者に送ります。

をもって痛みの共有と致します。

去る2月10日、沖縄県北谷町で起こった米軍海兵隊員 による 14 歳の女子中学生への暴行事件について大きな衝

再発防止の声も虚しく繰り返される暴行事件に憤りを感

被害を受けた中学生の癒しを祈ると共に、根にある基地

の撤去のために、沖縄に住む人々と力を合わせていくこと

受理することを承認した。 ては、研究所と宣教委員会

長は、「①宣教研究所につい が相次ぎ、ひとまず答申を 総会議員削減の方向は賛成 理事減員、評議員会新設は 手立てが必要」などの意見 教区の役割を減ずる」「教団 だが、教区格差拡大を防ぐ 夕食休憩再開後、山北議

関で丁寧な審議」「年金局の 積極的支持の一方で、「各機

で協議し、常議員会を経て 答申の取り扱いについての 第36総会に諮りたい」と、 会議員については、各教区 談を積み重ねる。④教団総 放センターについては、セ 係者と協議する。③部落解 金局については、三役が関 会、教団総幹事との間で相 ンターで協議し、運営委員

> 2008年2月18日 日本基督教団総会議長

> > 山北宣久

で討議する。②出版局・年 賛成多数で承認された。 議長提案を行い、審議の後、 (永井清陽報)

同のとらえなおし · 抗 議 声

って容易ならぬ覚悟を示す

士による女子中学生暴行事 関連して、常議員会の直前 は、「伝道150年」及び に起こった沖縄駐留米軍兵 件を取り上げ、その背景に 「合同のとらえなおし」に 知花正勝沖縄教区議長 訴えた。 送る人々の心情を、強い思 沖縄の現状、そこに日常を し、彼の地の苦境を切々と い入れを込めて詳細に説明 またこの中で、「合同のと

革の加筆等、既に総会議決 らえなおし」については沿

ある基地問題を初めとする

弾の言葉ではないが、かえ を要求するとか、迫るとか を経ている事柄があるの 帰るだけだ」と、厳しい糾 で聞いたことを沖縄に持ち ということではなく、ここ しも進展しないのか、「何か に、具体的な作業が何故少

提案した。 であった」と述べ、結果、 姿勢を問われたからではな 北宣久教団議長は、「今、 別記のような抗議声明案を ように問いを投げかけた。

員の氏名・所属基地を明記

質疑の中で、「米軍海兵隊 これを受けた格好で、山 抗議の声明を出す予定 すべきだ」という意見、

と言う一文を加筆すべきだ け容れ得ぬまま、基地撤廃 自身の責任を痛感しつつ」 を実現出来ずにいる私たち た、「沖縄の痛みを充分に受

ま 票で否決された。原案が十 として取り扱われた。 者が一緒にされて、修正案 という意見があり、この両 結果、修正案は賛成十二

九票で可決された。

積の出版局長に有澤禧年

取り組むべき」との意見も

見渡し得る局長と判断した

数で可決された。

山前局長の残任期間、

た。選任理由を出版局経営

(八尾東) の選任を提案し

を重視し三局をトータルに

秋山徹出版局長の辞任につ て、理事長、理事会とも十 り、山北宣久教団議長宛て 理事長に秋山出版局長よ あった。辞任の理由につい 辞表を提出した旨、報告が いて報告した。 小島誠志出版局理事長が、 昨年十二月十二日、小島 出版局理事会報告では、 日に議長により受理をされ 速やかに後任の局長を選出 ている。 認した。辞表は十二月十八 することができないこと、 ないので本常議員会に報告 急に結論を得たいことを確 題点について明らかにし早 なく、また辞任に至った問 して業務に停滞を来すこと

握と今後の対応について話 は局長辞任に至る経緯、問 の理事会を開催し事態の把 絡を受け一月十一日、緊急 突然の申し出であった。連 分に認識、把握しておらず 方、「現時点では報告を承認 が明らかではない」など報 が書面なしに口頭であるこ 意見が述べられたが、「報告 とはおかしい」、「辞任理由 この理事会報告を受けて

し、新局長のもとで解決に

述べられた。報告は賛成多 後任として有澤禧年教師 直ちに出版局長選出が上程 数で承認された。 され諮られた。山北議長は、 理事会報告承認を受け、

一て専任になることを答え ことを述べた。 きの後、四月より局長とし あり、教会担任辞任の手続 局長の兼務について質問が 提案に対し、教会担任と

伝道150周年

て小林貞夫委員長より報告 れ、今回の常議員会におい 委員構成は三役に一任さ 議員会の下に設置された。 催する件」が可決され、常 伝道150年記念行事を開 前回の常議員会で「日本 がなされた。 事を検討し、常議員会に答 日本基督教団が行う委員会 である。 教団として行う行 150年を記念する行事を 〇〇九年に迎える日本伝道 まず委員会の役割は、「二

され、二〇〇七年度の予算 することも求められる」と の情報を集め、連携を協議 申することが求められてい また、他の教派、団体

い』とし、聖句をコリント 題を『キリストこそわが救 行事を行う基本理念につ

教団成立の沿革」において、

一八五九年をわが国におけ

本国の一部ではなかった」

の年として記念する理由に

年を「日本伝道150年」 た」とされ、また二〇〇九 の信徒への手紙一第1章18

~25節とすることを決定し

は五〇万円とされる。

は新局長のもと難局に取り 案されたが、原案が賛成多 選任すべきとの修正案も提 た。また、局長代行として 三月より十月まで。出版局 前局長の残任期間、08年有澤新局長の任期は、秋 (渡邊義彦報)

る福音主義のキリスト教伝 道開始の年としている」② 「日本伝道 150 年」の意義を語る 小林貞夫委員長 年、100年を祝ってきた九年を起点として宣教50 諸教会と共に祝えるよう問があり、その他「アジア る」等と報告された。特に いて考えないのか」との質 正勝沖縄教区議長より、 沖縄伝道の件について知花 さらに丁寧な協議が必要と の関連、教団沿革問題につ 歴史を踏まえる必要があ に」との意見もあり、結果、 「「合同のとらえなおし」と

は沖縄は琉球であって、日 とすべきではないか、との 意見があるが、その時点で 道を『日本伝道開始の時』 「ベッテルハイムの沖縄伝 出されたが、こちらは継続 として承認された。また関 の見解が示され、報告受理 審議となった。 連して記念行事、出版計画 等についての提案も同時に

、松本のぞみ報)

を

隷福祉事業団の諸施設見学

礼拝後、社会福祉法人聖

することのできた前聖隷福

祉事業団理事長長谷川力

る

に移り、遠州栄光教会の森

氏、小羊学園理事長稲松義

十字の園理事長平井

出委員である長沢道子委員

践している事が強く感じら 福祉、介護サービス等で実 く「隣人愛」を医療、保健、

れるものであり、また懇談

共 同

歴史編纂の可能性探

定国会請願署名、「外国人指 ◎ 「外国人住民基本法」制

提案する。

--教協力協議会

称)」として制定することを 日)を「宣教協約の日 宣教協約締結の日(2月8

仮

紋」制度の中止を求める要 請署名を各教区総会宛送付 し取組を要請する。

◎外キ協事務局への当委員

教社会事業同盟からの選

礼拝奨励も日本キリス

の研修を兼ねた委員会であ

今回は社会事業同盟関係

州栄光教会(浜松市)を会

同施設の見学も行った。 にて共に朝礼拝に出席し、 別養護老人ホーム十字の園

総じて聖隷事業団の業

みを分かち合った。

社会福祉施設援助金の送付

一の委員会内規を承認した。

告を受けた。

(土地
近時)

スト教学校人権セミナー

抗議等)や委員の各担当報 ス献金関連、死刑執行への

~7/2)、第19回全国キリ 国際シンポジウム (6/30 20~22)、第13回外登法問題 回人権シンポジウム(4/ 会〈宣教100周年〉第14

金」を適切に運用するため

別件では「その他の救済資

なお、今回の委員会では、

発題があり各教区の取り組

学級(九州教区)に決定し、

報告(地震関連、

クリスマ

提案する。

b「共同讃美歌」

· 宗 // 喰

して作成し発表することを メッセージを両教団が協力

編纂の可能性、両教会の歴

"

史編纂の可能性を探る。 c

詳細を協議し、その他業務

ト (兵庫教区) ③なかよし 奈川教区) ②あいあいネッ

員による「性差別問題」の 業」の報告や土井しのぶ委

キリスト教精神に基づ

会期第四回社会委員会が遠

|月七日~八日、

拝堂を見学した。翌日は特

区における教会と社会事

先を①寿地区センター(神

また全国社会委員長会議

/10~11)、在日大韓基督教

基づき、a「平和聖日」の

(六月十六日~十七日)

(3)

知的障害児施設小羊学園や

き感謝であった。

による「東海教区・中静分

れた「改正入管法の施行に 議長及び当委員長名で出さ

議会の報告を受けた。

その後、外キ協と教団と

る。 教団宣教方策会議 (3

との宣教協議会合意文書に ◎第二回在日大韓基督教会

浜松

◎次の会合に委員を派遣す

協議では西之園路子委員

関わりを伺った。その後、

歴史や基本理念、教会との 歴史資料館にて聖隷事業の ストファー大学構内の聖隷 田恭一郎牧師より聖隷クリ

場からの声として貴重な意 長三輪尚士氏らからは、現 章氏、聖隷厚生園讃栄寮寮

見や感想等を伺うこともで

行された外国人生体情報採

八日に西南KCCで開催さ 識、および一月十七日~十 了についての幹事会の認 安婦」支援募金献金取組終 対する声明」、旧日本軍一慰

れた第二二回外キ協全国協

換し、次の事柄を決定した。 文などについて若干意見交 国人住民基本法 (案)」の条 約に基づく今後の取組、「外 日大韓基督教会との宣教協 の関係の在り方、教団と在

教会26万3千7円)

境港

"

辞(主)水野 穣

区総会宛振込み用紙を添え する協力献金の依頼を各教

て送付する。(現在献金高11

教師異動

教団会議室で開催された。

まず、十一月二〇日に施

帯特設委員会が二月四日、

第三回在日韓国朝鮮人連

教

我キリストと偕に十字架につけられ

にかかり、 からと医者に妊娠中絶を勧 母は出産を控えて重病 母子共に危険だ ん方が、毎晩お乳を下さっ 教団伝道委員会主催「伝道講演会」

ねのけ私を生んでくれた。 母が自分の体を第一にして められた。 しかし自分が死 んでもと、周囲の反対をは もそうだった」。 た。このお母さん方は、被

いたら、私はここにいない」一道委員会主催の「伝道講演

を会場に開催された教団伝 差別部落の人々であり、私 二月四日 (月)、岡山教会

た。その時、不思議に「我 葉に導かれた。それに応え一る。そこでも、御言葉と祈 るにあらず。キリストが我 けられたり。 最早われ生く キリストと偕に十字架につ 待ったが、終電が過ぎてい のあまり線路を枕に電車を 入したため勘当され、絶望 が内に在りて生くるなり」 人生の重大な局面で、御言 という言葉が浮かんだ。… 大学三年時、

講師の東岡山治牧師(上下教会)

教会)は、内容的には大変に が基調であった。 数々を、笑みを見せながら 重い、時に辛いエピソードの し、怒りの表情も見た。しか 淡々と語った。否、涙も見た し講演は明るく、赦し・希望 神学部に編 のか、牧師が家庭教師の口 に窮した。それを見ていた 礼拝で感動し財布を逆さに 単純・素朴に信仰に生きる を世話してくれた話など、 して献金したため、食べる 姿勢が伝わって来た。 卒業後、部落解放(伝道)

かし、苦労話ではなく、如 赴任、以来苦労の数々、し 行うという計画のもとに、 あったかという話に展開す 恵まれ、支えられ、感謝で 部落の子ども達への伝道を 無く、広島で社会館を建て 志すも、そのような教会は に取り組む教会への赴任を

「これを知った村のお母さ | 会」で、東岡山冶牧師 (上下 | て祈った。貧しい神学生時、 そこにこそ東岡牧師の伝道 と混乱させられる。しかし、 場人物が多過ぎて、ちょっ が存在するのだろう。 すればエピソードが多く登 数々の教会での働き、そ

気の某大物俳優など有名人 れる。CMで若い人にも人 実に多くの固有名詞が現 無名の人も、聴衆から 身代わりになって下さった (1)贖いの信仰 罪深き私の 私が主張してきたこと。 端折って掲載しよう。 主の恩に報いるため生涯を

ず紹介する紙数は無い。講 演の後半部分は、レジメを に溢れた出来事を、漏らさ こで起こった困難且つ恵み

りが、彼を導いた。

和気教会祈祷会に合流

審議となっ ことで、継続

会があるとの

している委員

ページを検討 も教団ホーム したが、他に

催。「私の伝道講演会を開

岡山教会で伝

四日夜は、

道」と題して

東岡山治牧師

(上下教会)

きたい。 り光が照ると信じたい。

負いたい。甦りの信仰によ ②十字架と復活 十字架を (3聖霊の働き 祈りの中で

は十一献金を強調した。マ (4)十一献金 堅田と彦根で 聖霊をいただいて来た。

ラキ3章10節は真実で偽り る牧師に多くの役目を下さ らしい。部落出身者を名乗 らない。 朝夕聖書を読まなければな りにし感謝している。 は部落に生まれたことを誇 ⑥部落伝道·部落解放 私 5アシュラム運動 最後 日本基督教団は素晴

ではない。溢れる祝福され り、特にこの伝道講演会に 用いて下さった。

会堂貸出金上限額 | 捧げました。何も求めず働 | た例を知った。 一千万円に

山教会で開催された。 委員会が二月四~五日、 今回の主な議案は六つ。 第35総会期·第四回伝道 岡

|題と伝道」との主題の下、 会に関する件。今年六月十 ~十二日に、「高齢者の課 つ目は、教区伝道委員長

道援助金申請に関する件。

岡本知之牧師(西宮教会) 土佐嶺南教会(三〇〇万 | 判断に一任となった。 を講師に開催される予定の を協議・決定した。 教会とし、そのプログラム 同会について、会場を大阪 二つ目は〇八年度開拓伝

り、協議の結果、前二者は 〇〇万円)、宮城野愛泉教会 円)、西宮名塩伝道所 (二 後者は書類不備につき保 申請通りの援助額を決定。 (三〇〇万円) の申請があ

第4回伝道委員会 保留した。

件も同扱いで、エクロフ委員 付金申請五〇〇万円。この 会に推薦することとした。 いたが、右の理由で決定を 00万円の申請が出されて 〇八年度分エクロフ基金貸 分会堂貸出金申請に関する 四つ目は、同教会からの 追加議案として、教団の 三つ目は、〇七年度後期 宮城野愛泉教会から三

会堂貸出金制度の上限額が 金の使途に関する件。教団 の貸出枠があることから、 が決定された。 千万円に引き上げること

最後は、放送伝道資金残

教会の歴史と伝道の様子を 話から、伝道の意気が伝わ をお迎えし、熱のこもった 徒の方々と祈祷会を共にし ってきた。 五日は和気教 眞人委員の奨励により、信 伺い、質疑応答の後、竹井 会に移動。延藤好英牧師に (山岡創報)

できるようにと一億五千万 五百万円であったものを、 よりニーズに応えることが

の伝道ホームページの開設 辞(代)川染三郎

辞(担)畠澤かおり 辞(主)畠澤美雄 就(主)水野 穣 中部教区 教師退任 就(巡)西村 辞(教)上田博子 清

辞(代)久山庫平 就(代)岡本康夫 榊原喜三郎、小林信雄 吉川美喜、堀川賢二 教師隠退

和田信子、池上昭、 萩原純一、荻原時子、

北九州復興辞(担)湯浅佳成 辞(担)原 淑美 就(主)原 淑美 川桐信彦 潔、西村

「新潟県中越地震」被災教会会堂等

会の関わり方については、 委員長に調整を委任する。 (土井桂子報 「新潟県中越地震」被災教会会堂等 再建支援募金 目標達成、感謝

100周年」記念事業に対◎在日大韓基督教会「宣教

3月末で終了します 「とても無理ではないか」「しかしなん としてでもやり遂げなければ」。

1億5千万円の目標を掲げてスタート した「新潟県中越地震」被災教会会堂等 再建支援募金。困難な中で更に期間を延 ばし、目標も3千万円アップ。しかし、 達成できました。3月末で募金は終了い たします。皆さまのご協力を心から感謝 し、ご報告いたします。

再建支援委員会

教

とき、これ程長い年月を経たもの 活動、そして自分の人生を顧みる かと驚きを隠せません。 に到着しました。 薄曇りの寒々と 究飲子だった娘と共に私は東京 四〇年近くになる日本での宣教 た日と記憶しています。 多くの 一九七〇年一月、夫ハリー、

なりました。 これからどうすべき 命によって日本へ送られたことを か、様々の選択肢を考え、祈り合 け、 いました。一九七〇年に神様の使 の奉仕は続けておりました。 族で東京に移りましたが、筑波で 一九九四年、夫が重い脳梗塞に 介助つきの施設に入ることに 本国に戻って集中治療を受

生活を始めてから今まで、解らな

を不思議に思いました。 日本で が外出時に白いマスクをする様

くれたのは、仕事仲間や友人でし

最初に赴任したのは筑波学園教

い事だらけの私を辛抱強く支えて

断しました。夫は米国の り奉仕を続けるべきと決 覚え、私一人が日本へ戻 とを覚えます。 皆様に、 心より感

きました。永住ビザを取得して、 誤をしてきましたが、一度も孤立 の故郷は日本です。この文化の中 感を味わうことなく過すことがで ントンDCに住んでいます。 彼ら 娘夫婦は二人の子どもたちとワシ 息子夫婦二組と孫が一人います。 謝申し上げます。 ことを楽しみにしています。 これからもまだ日本に住み続ける じ家庭を築いています。東京には 三人の子どもは、それぞれ結婚 居場所を見つけようと試行錯

見守り支え愛して下さる方です。 神様は私たちがどこにいても、

宣教師からの芦

トンルイス・キャシ

(UMCからの派遣宣教師)

ら遠くない所に住んでい ております。娘はそこか 情のこもった介助を受け

九〇年代初め、私自身

エル・ホームに移り、愛

によるブルックス・ハウ

合同メソジスト教会運営

の使命はそこで女性 英会話学校で教え導くことで、私 味を自問自答しました。 日本語習得が困難だった トさったのです。私の賜 物は討論会・聖書研究会・ しかし、神さまは教えて 宣教師としての意

神様の愛を日毎の生 れました。私たちは 実したものと感じら 活動が意味深く、充 活を通して証しする 入れると、日本での と。これを一旦受け に仕えることである

学院の東村山高校で へ戻ってからは明治 九九五年に日本

s ଧ Toastmasters Clubଧ

Training in Communication

筑波地区ではInternationa

いうクラブ立ち上げのお手伝いも

会でした。爾来二〇年間、茨城地

区の牧師先生、教会員の皆様から のための英語クラスで教え、教会 **英語を通しての外国人牧会にも当** では、夫婦で聖書勉強会を行い、 た。 又筑波クリスチャンセンター 付属幼稚園では英語も教えまし ごも教鞭を執りました。 私は女性 の御指導と教えに恵まれました。 大は巡回説教に当たり、筑波大学 皆、種を蒔く人で、

者なのです。

でき、それはとても遣り甲斐のあ に英語を教えることでした。 私生活で最も時間を要した働き 天は次に聖学院に迎えられ、

地元学校に通う三人の子ども 教会の英会話学校でも教えていま の英語教師を続けてきました。

そして家族と、大勢の方々から祈 られ、支えられ、愛されてきたこ きました。しかし、良い時も悪い めてくださる方のお陰で、わたし 労は、その日だけで十分である」 明日自らが思い悩む。その日の苦 とまで思い悩むな。明日のことは 時も、派遣元教会・同僚・友人、 とフィリピ4・13の「わたしを強 にはすべてが可能です」でした。 今まで支えとなった聖句は、マ この三八年間、紆余曲折を経て

宿泊させていただくという 教会の礼拝堂の長椅子を利 を大事にしている。また、 れをすることにより、食事 用させていただき、ベッド 持ち寄り調理し、それを皆 たが、突然参加者が増えた の思いが入ることは当然 り方も定着している。こ 食べるという会の持ち方 農伝協の特徴は、食材を 持ち寄りの寝袋で

が、足るを知る文明への転

るし、参加費も安くできる りしても、気楽に対応でき 田先生は「陸の刺身」と表 目給率の高いメニューを太 という特徴を持っている。

艮い繋ぎになったと思う。 東山道晴牧師による開会礼 **視点から見た憲法」だった。** - 題講演は太田一男氏(酪 いから憲法に添った奨励は 今集会のテーマは「農の 会だが、運営面への批判が た、教団伝道委員会主催の

1988 年、キャサリンの卒業式 クリスチャン・アカデミーの庭で

で、印象に残る言葉を列記 | 天名誉教授) にしていた りをにぎったりして別れた。 後そうじをしたり、 よる奨めで守られた。その (田中洋一報)

持つものであるかは歴代の総会議

この大会がいかに大切な意味を

「農の視点から見た憲法」 農村伝道協議会総会及び研修会

稿教会で行われた。 参加者 び研修会が、岩手県の舘坂 いかけて、農伝協の総会及 日帰りも含め二五名で 係は負の現実だ。◎地球球 う近代の資本制商品生産関 する文明だ。◎農民等は自 と。◎近代文明は役割をパ 法人や会社のことだ。◎全 ーツ化し、自然人を棄民化 るものは近代が古くなるこ 体の有限性の認識の広がり てのものを商品にしてしま 然人に類する。排自然人は ◎グローバル化の意味す

省の場となった。去年六月 であった。総会では「農に 教会の入江敦兄によってな 関する活動者協議会」の反 産施設の所長としての証し 早天礼拝は北上教会の酒匂 諸問題を述べてもらった。 された。有機農業や地域の 換につながる。等々。 節雄兄によって守られ、 に土沢教会を会場に持たれ 夕食後の現場報告は土沢 授

話し合われた。 回の農伝協の内容の事等が 多く出された。その後は次 閉会礼拝は篠崎勲牧師に

の期待を裏切った事を肌で感じ 逢い、弓町本郷教会に足を運ぶ 学した。 そこでキリスト教と出 卒業生であり、その人格的影響 中学校担任教師は、東京女子大 期待されての誕生だった。 両親 った(本人の弁)。敗戦当時の ひがみ根性たっぷりの性格に育 たので両親は次こそ男の子、と | 「健作牧師から洗礼に与った。 ようになる。 そして当時の田 を強く受けて日本女子大学に進 こ成長する。 それ故、ひねくれ して生まれる。 先に姉が生まれ 日本女子大在学中は、学生> 機屋商人の四人姉妹の次女と

いう事を強く心に覚えた。

会設立に尽力させ、今も教会 後藤さんのこの思いは、館林

り実家に引き戻されるが、 レンスで日本全国を回って活躍

WCA の会長を務め、カンファ

教区の働きを通して感じ

の社会科教師

時に与えられた。臨時で中学校 尻キャンプの働きに転向する 思い出され、 学校を離れると、逆に恋いしく が、あんなに逃げ出したかった う思いが強く ト者として未熟な私では「生徒 校長の裁量で 子どもを預かる季節託児所を立 次々に浮かんでは消えた。 を指導する事が出来ない」、と言 て採用される。 ち上げた。 その伝から地域の学 いた金子牧師夫人と、農繁期に 杯教会の前身 した。その後 転機は、結婚後主婦となった なり、二年で退職 子ども達の顔が となる働きをして 東京YWCA野 しかし、キリス 音楽の教師とし 性の少女から主に賜を用いてい えする力となっている。地に足 えする事が成長の力となる事を 長老と教会学校教師として、会 その後二七年間教師を勤めた。 告白に立ち、教会という現場に る事は、牧師と信徒が同じ信仰 を据えた信仰により、ひがみ根 計長老の息子さんと一緒にお仕 この時に、現場を離れては勉強 しっかりと御言葉を通してお仕 ただく喜びの人に変えられた。 も出来ないし、信仰も生きない」

として採用され、

心に強く受けとめている。

和子さん 後藤

地に足をつけて



1932年8月生。関東教区宣教 部委員、関東教区伝道委員会書 記、館林教会長老·CS 教師。

昨年十二月三日~六日、台湾新 hthattllhaddhadllhaddh

つつ語った。

竹市聖経学院で台湾基督長老教会 者はスタッフ二八名を含めて二三 主催の会合が持たれた。人権宣言 二〇周年国際研討会である。出席 分伝わってきた ピールを発して 俊明元総幹事らが講演をなし、ア 長・投獄生活を 私も三〇分の 続けさせられた高

に十五ヶ国から代表が集った。 五名、国際と名付けられた会だけ

あの時、台湾基督長老教会(以

と信仰に裏打ちされた勇気ある言 Tとの生命的交 動によって教団もどれだけ教えら に苦しみ闘いを引受け、深い祈り させていただいたが、同胞のため 励まされて きたことか、PC わり、絆に感謝し ŧį るPCTとの連帯、連携を求めて

||三に大きな衝撃を与えられ、

教

立たされている台湾の国際的現状 下PCTと記す)が非常な苦難に

にあって世界に向けて発した人権

レスポンスを担当 いたことからも充 世代に伝えんとする決意、国連や 結実を与えられんことを熱く祈る 進もうとするPCTの歩みが良き には民進党の歴史的敗北に終った WHOに加われない孤立感、さら 立法院選挙の結果などを抱えつつ とともに、新たなる思いでさらな この人権宣言のスピリットを次

行くことにしたいと思う。 「キリストのために苦しむこと 恵みとして与えられている」

とのみ言葉が想起させられた。 教団総会議長 山北宣久)